

## 日本生協連 世界の協同組合として初めてGSSIに参画 ～持続可能な水産資源の普及推進に貢献します～



日本生活協同組合連合会（本部：東京都渋谷区 略称：日本生協連 代表理事会長：本田 英一）は、2018年7月25日、持続可能な水産物の普及に向けて取り組む「世界水産物持続可能性イニシアチブ（GSSI=The Global Sustainable Seafood Initiative）」のファンディング・パートナーに、世界の協同組合として初めて参画しました。

GSSIは、持続可能な水産物の普及を目的に2013年2月に設立された、水産関連企業、NGO、専門家、政府及び政府間組織による非営利組織です。各種の水産物エコラベルが、FAO（国連食糧農業機関）によってつくられた国際規格である「責任ある漁業のための行動規範」と「水産エコラベルガイドライン」を満たすかを検証し、承認する役割を果たしています。さらに水産資源の持続のために、違法な漁業への対処などの課題に取り組んでいます。世界から水産企業や流通企業がファンディング・パートナーとして参加し、活動を支えています。



日本生協連では、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」について、生協もその一端を担うべく、本年6月、7つの取り組みを通じてその実現に貢献することを約束する「コープSDGs行動宣言」を採択しました。そのうちの1つとして掲げられた「持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます」に基づく具体的な取り組みとして、水産部門のコープ商品における「MSC 認証<sup>※1</sup>」と「ASC 認証<sup>※2</sup>」の商品の供給金額構成比を2020年までに20%以上に引き上げることを目標としています。

※1：海洋の自然環境や水産資源を守って獲られた水産物に与えられる国際的な認証。

※2：環境と社会に配慮した責任ある養殖場で育てられた水産物に与えられる国際的な認証。

日本生協連は、今回のGSSIへの参画によって、GSSIが目的とする認証水産物の供給と販売促進における信頼性の担保および水産物認証制度の改善促進を支援します。さらに、持続可能な水産物を利用した商品の開発と普及を進めながら、GSSIに参画する企業や団体をはじめ、国内外の多くのステークホルダーと連携して、水産資源の持続的利用を推進していきます。

### GSSI マネージング・ディレクター Herman Wisse 氏のコメント

「日本生活協同組合連合会が、小売事業を営む協同組合として初めてGSSIに加入したことを歓迎します。日本生協連がGSSIに加入したことにより、GSSIにおける日本のリーダーシップと影響力が強固になります。私たちは持続可能な水産業の実現を目指すため、世界的な協働において、日本生協連とともに取り組むことに期待しています」

世界水産物持続可能性イニシアチブ（GSSI）Web サイト：<http://www.ourgssi.org/>

日本生協連は、今後も生産者や取引先などとの協力・協同をすすめ、水産資源の持続可能性を高めることを目指してまいります。

<お問い合わせ先>

日本生協連 広報部

TEL：03-5778-8106

<参考資料>

■「コープSDGs 行動宣言」7つの取り組みの詳細

コープSDGs 行動宣言	関連するSDGsの目標
<p><b>持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます</b>                      私たちは、「つくる責任」と「つかう責任」の好循環を発展させ、持続可能な社会づくりをめざします。国内外の人々、そして限りある地球資源へ思いをはせ、商品の開発と供給を進めます。学習活動を通じて、エシカル消費や持続可能な社会に関する理解を促進し、私たち自らの消費行動やくらしのあり方を見直していきます。</p>	<p><b>SDGsで関連する主たる目標</b>    <b>関連するSDGsの目標</b>    </p>
<p><b>地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します</b>                      私たちは、地球の持続可能性を揺るがす気候変動の脅威に対して、意欲的な温室効果ガス削減目標（2030年環境目標）を掲げ、省エネルギーと再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組みます。再生可能エネルギーの電源開発や家庭用電気小売を広げ、原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換をめざします。</p>	<p><b>SDGsで関連する主たる目標</b>   </p>
<p><b>世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します</b>                      私たちは、誰一人取り残さない世界をめざして、世界が抱える問題についての理解を深め、助け合いの精神を貫き、ユニセフ募金などに取り組み、世界の子どもたちを支援します。「貧困」の連鎖をなくしていくために、子どもの貧困について学び、話し合う活動を広げ、子ども食堂やフードバンク・フードドライブなどの取り組みを進めます。</p>	<p><b>SDGsで関連する主たる目標</b>    <b>関連するSDGsの目標</b>     </p>
<p><b>核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します</b>                      私たちは、「核なき世界」の実現のために、世界の人々と手を携えて、核兵器を廃絶し、平和な社会をめざす取り組みを進めます。私たちは、次の世代に被爆・戦争体験を継承し、日本国憲法の基本原則である平和主義のもと世界平和の実現に積極的に貢献します。</p>	<p><b>SDGsで関連する主たる目標</b>    <b>関連するSDGsの目標</b>  </p>
<p><b>ジェンダー平等（男女平等）と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します</b>                      私たちは、地域における活動を通じて、社会のジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会の実現に貢献します。女性も男性も、誰もが元気に、生きがいを持って働き続けられる生協づくりを進めます。</p>	<p><b>SDGsで関連する主たる目標</b>    <b>関連するSDGsの目標</b>   </p>
<p><b>誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します</b>                      私たちは、誰一人取り残さず、安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します。自治体や諸団体との連携を大切にしつつ、地域の見守り、移動販売や配食事業など、生協の事業や活動のインフラを活用し、地域における役割発揮を進めます。</p>	<p><b>SDGsで関連する主たる目標</b>    <b>関連するSDGsの目標</b>    </p>
<p><b>健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます</b>                      私たちは、食生活、運動、社会参加の視点から健康づくりを進めます。安全・安心はもとより、より健康な食生活に向けた商品事業と組合員活動を推進します。生活習慣病や介護予防など「予防」を重視し、福祉事業や助け合い活動を広げ、自治体や諸団体と連携し、地域包括ケアシステムのネットワークに参画します。</p>	<p><b>SDGsで関連する主たる目標</b>    <b>関連するSDGsの目標</b>  </p>